



岩見沢市開基 130 年・市制施行 70 周年記念事業として、「子ども市議会」が開催されました

いわみざわ 市議会だより

第 97 号

平成 25 年 11 月 1 日発行

もくじ

- 審議の結果 2
第 3 回臨時会・第 4 回臨時会・第 3 回定例会
- 一般質問 3～9
- 議会の動き・編集後記 10



〈6月27日開催〉



〈9月2日～13日開催〉

【条例の設定】

◎一般職員等の給与の臨時特例に関する条例

地方交付税の減額等による市民サービスへの影響を避けるため、一般職の職員及び市長、その他の特別職の職員の給与を減額するもの ↓ 原案可決

【条例の設定】

◎市子ども・子育て会議条例 ↓ 原案可決

【条例の一部改正】

◎市の休日に関する条例
◎市夜間急病センター条例
◎市歯科診療所条例
◎市犬の登録等手数料徴収条例 ↓ 以上、原案可決

【議決の変更】

◎平成25年度北5条団地建替建築主体工事
◎浸出水処理施設建築工事 ↓ 以上、原案可決

【工事請負契約の締結】

◎平成25年度志文小学校校舎改築主体工事
◎平成25年度志文小学校屋内体育館改築主体工事 ↓ 以上、原案可決

【工事請負契約の締結】
◎精米施設整備工事 ↓ 原案可決

【平成25年度補正予算】

◎一般会計（第3号）
◎特別会計介護保険費（第1号） ↓ 以上、原案可決

【平成24年度決算の認定】

◎一般会計及び特別会計 ↓ 閉会中継続審査

【平成24年度利益の処分及び決算の認定】

◎病院事業会計
◎水道事業会計
◎下水道事業会計 ↓ 以上、閉会中継続審査

【意見書】

◎地方財政の充実・強化について
◎「原子力事故子ども・被災者支援法」に基づく施策の早期具体化等について ↓ 以上、原案可決後、関係行政省に送付

【その他】

◎北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議 ↓ 原案可決

【陳情・要望書】

今定例会までに提出された次の陳情・要望書は、全議員に写しが配付されました。

◎地球社会建設決議について

◎森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択について

◎地方税財源の充実確保を求め意見書の提出について

◎道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現について

◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元「30人以下学級」の実現をめ

ざす教職員定数改善、就学保障充実など2014年度国家予算編成における教育予算確保・拡充について

◎「地方財政の充実・強化を求める意見書」の採択及び提出について

◎希望する教職員全員の再任用と必要な交付税追加措置の意見書採択について

◎「教育費無償化」の前進について

◎「教育費無償化」の前進について

◎「教育費無償化」の前進について

◎「教育費無償化」の前進について

◎「教育費無償化」の前進について

◎岩見沢市議会の活性化並びに議員定数の削減について

各委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

平成24年度決算の審査のため、二つの特別委員会が設置・付託され、それぞれの委員会構成が決定しました。

決算審査特別委員会

◎宮下 透 石黒 武美

○田中 和宏 氏家 一夫

池島 和行 大坂 龍起

野尻 清 笹島 清一

堀 孝行 斉須 正友

峯 泰教 山田 靖廣

天崎 弘

企業会計決算審査特別委員会

◎篠原 藤雄 古石 英仁

○酒井 和子 牧田 滋昌

豊岡 義博 井幡 修一

仁志 紘一 増山 宣之

平野 義文 上田 久司

谷口 洋一

一般質問の発言通告項目

※発言順

【増山宣之議員】

- ① 行財政運営
- ② 住民自治
- ③ 高齢者施策
- ④ ごみ減量化の進展と収集ステーションの環境改善
- ⑤ 少子化時代を見通した学校のあり方

【田中和宏議員】

- ① 市民生活の安全対策
- ② アンテナショップ

【古石英仁議員】

- ① 平成26年度予算編成に当たつての考え方
- ② 岩見沢市が管理している橋梁
- ③ 平成26年度農林水産関係予算の概算要求
- ④ 中心市街地における商店街の活性化
- ⑤ ごみ有料化に向けての市民への周知
- ⑥ あんしん住まいづくり助成事業と空き家対応
- ⑦ いじめ対策

【牧田滋昌議員】

- ① 行政改革大綱
- ② 中学校の部活動
- ③ 学力調査

【酒井和子議員】

- ① 健康福祉施策
- ② 地域で取り組む万引き対策
- ③ 「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて

【堀 孝行議員】

- ① ごみ減量化対策
- ② 市立病院経営

【石黒 武美議員】

- ① 自然災害発生に伴う市長所感
- ② 岩見沢市における各農作物作況

【山田 靖廣議員】

- ① 民生委員・児童委員の安定的な確保
- ② 民生委員・児童委員の安定的な確保

【山田 靖廣議員】

- ① 民生委員・児童委員の安定的な確保
- ② 民生委員・児童委員の安定的な確保

- ② 市民の健康を守る予防接種など
- ③ 改正耐震改修促進法の実施

【上田 久司議員】

- ① 入札制度の改善
- ② 建設労働者の賃金引き上げ
- ③ 国民健康保険
- ④ 期日前投票の改善

【斉須 正友議員】

- ① 中小企業の振興と農工商連携
- ② 学校給食

【池島 和行議員】

- ① 利根別自然公園と利根別原生林
- ② 競馬場跡地市民農園
- ③ 岩見沢市野球場
- ④ 学校給食

【平野 義文議員】

- ① 持続的で活力ある岩見沢市の実現のために
- ② 公共施設の現状把握と情報共有

議会改革特別委員会に

2つの小委員会が設置されました

議会改革特別委員会では、二つの小委員会を設置しました。一つは、市民に開かれた議会にするための具体的事項を検討する第1小委員会と、もう一つは、議会機能の充実・向上を図るための改革に関する具体的事項を検討する第2小委員会です。今後、具体的な協議が進められます。

なお、次のとおりそれぞれ委員が決定されました。

※◎委員長 ○副委員長

第1小委員会		第2小委員会	
◎田中 和宏	太田 博之	◎野尻 清	篠原 藤雄
○酒井 和子	平野 義文	○上田 久司	谷口 洋一
池島 和行	牧田 滋昌	天崎 弘	豊岡 義博
石黒 武美	宮下 透	大坂 龍起	仁志 紘一
井幡 修一	山田 靖廣	斉須 正友	古石 英仁
氏家 一夫		笹島 清一	堀 孝行

小委員会は公開で行うことが決定されておりますので、傍聴することができます。

日程につきましては、議会事務局までお問い合わせいただくか、開催が決まり次第、随時、ホームページでお知らせいたします。

増山 宣之 議員 (市民クラブ)

Q

まちづくり交付金について、今後どのように展開されていけるのか。

A

町会連合会や地区協議会など、関係する方々としてしっかり協議を行い、検討していきたい。

問

住民自治について、まちづくり交付金のあり方と今後の展開は。住民自治を推進するため、平成17年度から「地域づくり推進交付金」としてスタートしたこの制度は、平成20年度からは、防犯や防災活動などの「安全安心対策事業分」と、福祉や健康づくりの活動、交流や環境整備の活動などの「地域づくり推進事業分」を

答

この交付金は、対象となる事業の範囲は定められているものの、ほとんどの経費を対象としているほか、地域の実情に応じた柔軟に使えるものとしているが、一方では、町会への補助金的な要素が強くなっているという側面もあると認識している。また、「一括交付金」に

は、単一町会だけでは取り組めない事業に取り組んだり、自分たちの地域を住民みずからが率先して住みよい地域にするべく活動を推進するため、単一町会より大きな地区協議会が主体となって住民自治活動を行えるものであり、実際に取り組んでいる地区協議会では一定の評価もあると認識している。したがって、地域の自主的な活動を今後どのように支援していくのか、あるいはどのような仕組みがよいのか、また、見直しをするにしても、どのような見直しが必要なのかなどについて、町会連合会や地区協議会など、関係する方々としてしっかり協議を行い、検討していきたい。

田中 和宏 議員 (平成クラブ)

Q

豪雪地帯である本市においては、冬期間の訓練も必要と思うが、その考えは。

A

冬期における訓練を実施している他の自治体の実施内容なども参考にしながら、今後検討していきたい。

問

市民生活の安全対策について、①本年度の防災訓練の総評は。②冬期間の防災訓練の必要性は。③南利根別川の改修事業の概要は。④小河川ハザードマップの進捗状況は。⑤緊急告知FM放送整備事業の進捗状況は。⑥老朽化した街路灯の維持管理について、

答

①連携業務についてスムーズにいかなかったとの報告を受けている。一方では、被害を想定し、全庁的な訓練を実施に行ってみることで、事前準備も含め知識や経験が向上した一面もあったのではと考える。今後、しっかりと検証を行い、市民生活の安全・安心の確保に努めたい。②冬期における訓練を実施している自治体を参考にしながら、どのような訓練がよいのか、検討していきたい。③河川管理者と当市の担当職員による連携会議では、今年度は、本川と支川との高さ関係等を把握するための地形調査や地質調査を行い、その調査結果をもとに今後の整備計画を策定する予定であるとのことである。④4月から国、道と協議の上、仕様書を作成し、6月に入札・発注を行い、現在、現地調査や浸水想定区域図作成などの作業を進めている。12月末までに、ハザードマップの原稿となるデータが完成する予定で、その後、印

刷を行い、26年3月をめどに全戸配布したい。⑤災害時に確実に放送ができるよう7月から無線回線の整備に着手しており、9月中旬に完了する予定である。また、緊急告知放送に必要な機材の構築やラジオ端末の購入については、今月中に入札を行い、発注し、今年度内に終了する予定である。⑥報償の対象は、照明器具についてであり、電柱がない場所でのポール等の設置費は対象となっていないので、ポール等の補修等の相談があった場合には、経費の軽減なども含め電柱共架を検討していきたい。

一般質問

古石 英仁 議員
(平成クラブ)

Q

今後の政策の方針など、平成26年度予算編成に当たっての市長の思いとは。

A

10年先20年先を見据えたまちづくりにつながる必要な事業予算を十分確保できるように努めていきたい。

問

平成26年度予算編成に当たっての考え方について。

答

予算編成を進めるに当たっては、歳入の根幹をなす重要な財源である市税や地方交付税などの積算において、地方財政計画を指針として予算編成を行っている。

政府が示した「経済財政運営と改革の基本方針」と「中期財政計画」を踏まえて、8月30日に総務省から「平成26年度の地方財政の課題」が示され、平成26年度地方交付税の概算要求では、「地方の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額について、平成25年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保する」

また、「特に地方交付税については、本来の役割が適切に発揮されるよう総額を確保する」とされたところである。平成21年度から設けられた地方交付税の一般会計からの別枠加算については、「交付税総額の確保をめぐる年末の予算編成」において、最大の焦点となるようにも伺っている。岩見沢市の今後の見込みとしては、歳入において、今後の人口減少等に伴う市税・地方交付税の減少、歳出におきましては、高齢化の進行による扶助費の伸びが予想されることから、平成25年度から平成34年度までの10年間トータルで、130億円の収支不足が見込まれる

Q

改革には市民にも痛みが伴い、理解や協力を求めることは難しいと考えるが。

A

丁寧な情報の提供やさらなる共有など、説明責任をしっかりと果たしながら、ご理解とご協力をいただきたいと考えている。

問

行政改革大綱について、①そのねらいは。②推進に当たっては。③推進に関する評価のあり方は。④市民の理解と協力の求め方は。

答

①大きく三つあり、一つ目は、人口減少への対応で、当市の将来の人口は、2040年には、6万523人、高齢化率43%と推計され、大変厳しい見通しとなっている中で持続可能な行政サービスを、人口構造の変化に即して対応しなければならぬこと。

二つ目は、厳しい財政状況への対応で、今後の人口減少に伴う市税・地方交付税等の減少に加え、平成28年度から始まる合併算定替の終了に向けた段階的な縮減などが予定されていることから、歳入の大幅な減少が見込まれ、それに対応する行財政基盤を強化し、確保しなければならぬこと。

三つ目は、地方分権社会への対応で、地方分権改革により、自治体は今後、より一層の自己決定・自己責任による行政運営が求められる中、行財政基盤の強化などを図るとともに、市民の力が発揮できる地域社会の実現を目指すことなど、大きな三つの課題への対応から、行政改革大綱の策定に着手している。

②「管理減量型の行政運営」を継続し、加えて「経営型行政運営」への転換を進める。これは、行政を経営するという視点に立ち、限られた経営資源には情報や時間、それらに有機的に結びつけ、迅速・的確・実効性を追求し、特に「職員力」の向上や市民満足度を重視した行政サービスを、効果的・効果的に提供していくことを基本とする。

③どのような手法が行政サービスの成果を重視した効率的・効果的な行政運営につながる行政評価や検証になるのか、十分に検討していきたい。

酒井 和子 議員 (公明党)

Q 地域特性も踏まえ、健康マイレージの取り組みについて、可能か検討しては。

A 健康マイレージも参考に、岩見沢市の特性を生かした健康づくりの仕組みについて検討したい。

問 市長は、平成25年度市政方針の中で健康教育や健康相談、オリジナル健康体操の普及、保健師による地域保健活動の充実を図るなど、市民の健康づくりを支援していくとの決意を述べられていますが、市民の健康診断受診率を上げ、健康づくりを励むことで、医療費や介護費の抑制のほか、地域コミュニティや地域経済の活性化など、まちづくりや人づくりにつなげていくことが期待でき、将来の超高齢化社会を見据えた施策の一つとして、全国で広がっている「健康マイレージ」の取り組みについて、可能か検討しては。

答 健康づくりを推進するうえで、日々の運動や食事などの生活改善、健康診断の受診や健康講座、スポーツ教室、ボランティア活動などの社会参加など、健康メニューを定めポイント制にすることも、それぞれの事業への参加を促す効果的な取り組みの一つと考えている。

平均寿命が延びる一方、市民の皆様には健康や生活の質を向上させるため、さまざまな取り組みが求められています。健康マイレージも参考として、岩見沢市の特性を生かした市民の健康づくりの仕組みについて検討したいと考えています。



堀 孝行 議員 (新政クラブ)

Q 市長の思い描く持続的な健全経営に向けた収益向上策の具体的な内容とは。

A 医師確保を初め具体的な方策を、今年度中に策定予定の経営計画の中に盛り込んでいきたい。

問 市立病院経営について、①医師確保の状況は。②医師確保による医療収益はどのくらい伸びているか。③特に医療収益の伸びた診療科は。④収益増につながる現場医師からの提案や意見は。⑤収益向上を第一に考えるのであれば内科の半日診療の解消は必要と考えますか。⑥市長の思い描く持続的な健全経営に向けた具体的な収益向上策は。

答 ①平成25年度において、医師総数が43名と前年度より3名の増となっている。増となった診療科は内科、産婦人科が4月から、脳神経外科は7月から各1名の増となっている。②7月末現在で、前年度と比較すると約7千万円増、3.2%の伸びとなっている。③内科が約6千800万円、7.8%増、産婦人科が約707万円、11.2%の増となっている。④本年8月に開設した「内視鏡・腹腔鏡・顕微鏡外科研修センター」は、医師の提案に基づくもので、このほか「院内コンシェルジュ」の配置など提案や意見があったと伺っている。これらは、必ずしも直接、収益の増につながるものではないが、良質な医療サービスを提供することが、結果として収益の増につながるものと考えている。⑤午前の外来診療終了時間が恒常的に午後13時過ぎになっているのが現状である。現状の診療体制の中では解消については難しいものと考えている。⑥医師確保による収益の確保を初め具体的な方策を、今年度中に策定を予定している経営計画の中に盛り込んでいきたいと考えている。

再質問 現状で内科の半日診療を解消してほしい。⑤は、医師の提案に基づくもので、このほか「院内コンシェルジュ」の配置など提案や意見があったと伺っている。これらは、必ずしも直接、収益の増につながるものではないが、良質な医療サービスを提供することが、結果として収益の増につながるものと考えている。⑤午前の外来診療終了時間が恒常的に午後13時過ぎになっているのが現状である。現状の診療体制の中では解消については難しいものと考えている。⑥医師確保による収益の確保を初め具体的な方策を、今年度中に策定を予定している経営計画の中に盛り込んでいきたいと考えている。

市長 今年度中に策定を予定している経営計画の中に盛り込んでいきたいと考えている。

一般質問

石黒 武美 議員
(平成クラブ)

Q

洪水時に流入する土砂、流木など残積物の処理責任の所在は。

A

地元関係者などと協議のうえ、札幌開発建設部が除去すると伺っている。

問

北村遊水地事業について、①完成後の治水効果は。②平成25年度の事業予定と、現在までの進捗状況は。③越流堤完成の時期は。④洪水の流入に伴う残積物の処理責任の所在は。⑤今後の事業推進に当たり、事業者と対策協議会がスムーズに協議を進めるために、市の役割は重要と考えるが。

れるとされている。②平成25年度については、事業費21億8千万円で、支障物件の補償と調査、排水門の設計、石狩川の堤防盛土工事などを行う予定となっている。

また、進捗状況については、平成24年度の事業費ベースで約1%、事業費は8億8千万円となっているところである。

また、進捗状況については、平成24年度の事業費ベースで約1%、事業費は8億8千万円となっているところである。

③遊水地周囲の堤防のほか、関連設備を完成させたいと伺っている。

また、進捗状況については、平成24年度の事業費ベースで約1%、事業費は8億8千万円となっているところである。

答

①戦後最大規模の石狩川がはんらんを起こした、昭和56年8月の豪雨規模の流量を完全に流すことができると言われている。

また、進捗状況については、平成24年度の事業費ベースで約1%、事業費は8億8千万円となっているところである。

また、石狩川及び市内を流れる幾春別川や旧美唄川などの支流河川の水

また、進捗状況については、平成24年度の事業費ベースで約1%、事業費は8億8千万円となっているところである。

位低下にも大きく寄与し、治水安全度の向上が図ら

また、進捗状況については、平成24年度の事業費ベースで約1%、事業費は8億8千万円となっているところである。



▲北村遊水地事業区域

問

民生委員・児童委員について、①現状は。②育成のための講座などの対応は。③活動費の増額の検討と活動中の事故補償は。

民生委員・児童委員の者の介護サービスの相談や在宅支援、さらには子育てに関する相談のほか、情報提供や社会調査など、広範囲にわたって活動をしていただいている。

答

①平成25年9月1日現在、市内12地区で男性が101名、女性が131名の232名の民生委員の皆さんが活動いただいております。充足率は98.7%となっています。欠員の生じている3名の地域については、各地区ごとに協議し、欠員地域に隣接する民生委員、もしくは各地区的役員により、後任の民生委員が就任するまで、その地域を数名で分担していただいている。

民生委員・児童委員の者の介護サービスの相談や在宅支援、さらには子育てに関する相談のほか、情報提供や社会調査など、広範囲にわたって活動をしていただいている。

山田 靖廣 議員
(日本共産党議員団)

Q

市として、長期的な計画の中で年齢構成も考え、育成する考えは。

A

民生委員活動を正しく理解してもらおう広報活動の充実を図っていききたい。

問

民生委員・児童委員の者の介護サービスの相談や在宅支援、さらには子育てに関する相談のほか、情報提供や社会調査など、広範囲にわたって活動をしていただいている。

答

民生委員・児童委員の者の介護サービスの相談や在宅支援、さらには子育てに関する相談のほか、情報提供や社会調査など、広範囲にわたって活動をしていただいている。

また、民生委員は、「特別職の地方公務員」であることから、活動中の事故が発生した場合は、地方公務員災害補償法に基づく補償を受けることができることになっている。

また、民生委員は、「特別職の地方公務員」であることから、活動中の事故が発生した場合は、地方公務員災害補償法に基づく補償を受けることができることになっている。

また、民生委員は、「特別職の地方公務員」であることから、活動中の事故が発生した場合は、地方公務員災害補償法に基づく補償を受けることができることになっている。

また、民生委員は、「特別職の地方公務員」であることから、活動中の事故が発生した場合は、地方公務員災害補償法に基づく補償を受けることができることになっている。

上田 久司 議員
(日本共産党議員団)

Q

労働者の賃金引き上げが適正に行われるのか業者への指導、点検をする考えは。

対象業者に対し、適切に対応するよう強く要請しているところである。

A

問 建設労働者の賃金引き上げについて、全業種単純平均15・1%と大幅な引き上げとなつていますが、市としても、適切な給与水準の確保を図るため、対象業者に対して、下請企業との間で既に契約している請負契約の金額の見直しや、技能労働者への賃金水準の引き上げ等、適切に対応するよう強く要請しているところであり、あわせて、各業界、団体に対しても、同様の趣旨の申し入れを行っているところである。

答

岩見沢市は、国の要請を受け、平成25年度公共工事設計労務単価についての運用に係る特例措置について、5月30日、その適用を決定したところであるが、議決の変更議案2件を除いた影響額は、旧単価で契約したものが33件、2千53万1千円となつており、既に特例措置の変更協議を終え、今後発注する工事については、すべて新単価に置き換えて、遺漏のないよう適切に処置しているところである。

国が定めた労務単価は、民間における労働契約の

内容に直接介入することになるため、労働基準法や最低賃金法等の労働関係法の範疇にて対応すべきものと考えているので、ご理解願いたい。

再質問 引き上げ分が労働者に本当に支払われているかどうか調査するなり、業者から報告を受けようにするなどの点検が必要と思うが、道議会に努めたい旨の知事の発言も踏まえ、その考えは、市として持つていないため、強く要請しているところであるが、道議会の議論なども確認して、知事が把握をというようなど発言があったとすれば、道の対応も参考にしたいと考えている。

齊須 正友 議員
(公明党)

Q

栄養教諭による食の指導の実施内容は。

食べ物への関心を高めたり、食事の基本的なマナーや栄養管理、地産地消、給食に携わる人々への感謝の心を育むなどの指導をしている。

A

問 学校給食について、①学校給食試食会は、②食の指導(食育)は、③学校給食児童生徒アンケートは、④給食畑などの取り組みは、

答

①「開かれた学校給食」に向けた取り組みの一環として、本年度から、市民の皆様を対象として開催しており、第1回目の開催では、11名のご参加をいただき、「とてもおいしかった」「よい取り組みなので継続してほしい」など、好評をいただいている。

今後、隔月で開催するため、多くの市民の皆様にお越しただいただければと考えている。

②各学校では、「食に関する指導の全体計画」を策定し、給食時間のほか、総合的な学習の時間や道徳、家庭科等の授業で食の指導を行っている。

栄養教諭による指導の実施内容は、当日の給食の食材などをもとに、「給食ができるまで」や「給食を知ろう」というテーマで食べ物への関心を高めたり、食事の基本的なマナーや栄養管理、地産地消、給食に携わる人々への感謝の心を育むなどの指導をしている。

③アンケートの結果は、おおむね好評と受けとめているが、一方で、給食を「いつも残す」とときどき残すとの回答が、合わせて50%を超えており、その理由の「給食時間が短い」については、各学校に配膳方法や食事の仕方を工夫し、できるだけ食べる

④地域特性に応じた取り組みについては、すばらしいものと感じている。当市においても農家の方や岩見沢農業高等学校の皆さんなどにご協力いただき、食育の推進のためにさまざまな取り組みを行っており、今後も、地域の皆様と連携しながら、給食に関心をもち、食を大事にする心を育てる取り組みを進めていきたい。

一般質問

池島 和行 議員
(新政クラブ)

Q

スポーツ振興や、活力あるまちづくりを含めたプロ野球誘致についての考えは。

教育大学岩見沢校との連携も図りながら、誘致等の地域振興も含めて、スポーツ教育について研究していきたい。

A

問 岩見沢市野球場に
ついて、①次年度の
球場利用増加と地盤沈下
等に伴う球場内整備は。

②ファールボール対策は。
③野球ルール変更に伴う
スコアボード改修は。④
プロ野球試合の誘致は。

施設でも老朽化が進んで
いるため、優先順位を決
めて、計画的な施設整備
を進めていきたい。

②場外へのファールボー
ルを防ぐには、防護ネット
の設置が最善かとは思
うが、打球によっては、
内野の照明塔の高さ近く
まで及ぶこともあること
から、安全確保の面から
もどのような方法がよい
のか検討することとし、
当面は指定管理者と協議
し、利用者に対し注意を
促していきたい。

て今後検討していきたい
と考えている。

④トップレベルの選手を
競技水準を高める教育的
効果のみならず、観光や
産業の発展にも寄与する
ものと考えている。

答

①オーブンから14
年が経過し、施設の
老朽化とともに、地盤沈
下も進んでおり、グラウ
ンドは水はけも良く、プ
レーの支障となる状況に
はないものの、スタンド
などに接している箇所
は、段差が生じているた
め、利用者の安全確保や
バリアフリーに配慮し、
対処しているところであ
る。

③地区大会や全道規模の
大会が開催され、また、
スコアボード設備の老朽
化による表示装置の不具
合もあったことから、ス
コアボード全体の改修に
ついて、どのような方法
がよいのか、費用も含め

野球を含めさまざまな
プロスポーツの誘致には、
まず、市民の誘致意識の
醸成が前提となるが、プ
ロが大会で使用するため
の施設環境の整備、大会
運営のための人的体制及
び費用対効果等多様な角
度から調査研究が必要と
なることから、専門知識
を持つ教育大学岩見沢校
との連携も図りながら、
プロスポーツ誘致等の地
域振興も含めて、スポー
ツ教育について研究して
いきたいと考えている。

備を進めてきたが、他の

源の中で計画的に施設整

備を進めてきたが、他の

平野 義文 議員
(新政クラブ)

Q

生産年齢人口層の定住人口増加に向けた取
り組みをどのように図っていくのか。

重点施策ととらえ、将来の岩見沢にとって、次
の世代につながる必要な投資はしっかり行って
いきたい。

A

問

持続的で活力ある
岩見沢市の実現の
ために、子育て環境の向
上による定住人口増加に
向けた取り組みは。

答

遊びの機会として、
常設型親子ひろば
「ひなたっ子」、子育て支
援センターが主催する
「青空広場」、小学生を対
象に子ども会連合会が主
催し、利根別原生林で遊
ぶ「子ども森遊隊」や
「子どもキャンプ」、メー
プル小学校では、教育大
学岩見沢校と連携し、カ
ヌー体験をするなど、恵
まれた自然環境を生かし
た取り組みも行っており、
これら、岩見沢ならではの
取り組みを継続してい
くとともに、さらに成長
に合わせたプログラムを
検討していくことも必要
と考えている。

一年を通じてさまざま
な年代が集い、子どもた
ちが伸び伸びと遊べる場
所を中心市街地などに
くることも大切と考えて
おり、さらに成長に合わ
せて、好みや適正を見き
わめ、可能性を伸ばす機
会を提供していくことも
必要と考えている。

子どもたちが将来、岩
見沢に育ったことを誇り
に思うようなまち、また、
子育て世代が、ここで育
ててよかったと思えるよ
うなまちにするため、市
民、議員の皆様のご意見
を伺いながら、ともに考
えていきたい。

子どもは、社会の希
望・未来をつくる力であ
り、重点施策ととらえ、
行政改革の中でも、選択
と集中により、将来の岩
見沢にとって、次の世代
につながる必要な投資は
しっかり行っていきたい。

環境や人、伝統や文化、
それぞれが持つ特色や魅
力を組み合わせ、岩見沢
だからできる子育て支援

環境や人、伝統や文化、
それぞれが持つ特色や魅
力を組み合わせ、岩見沢
だからできる子育て支援

岩見沢市議会ホームページ をご覧ください

岩見沢市議会ホームページでは、会議の開催日程及び会議の結果、議員の紹介、議会の概要、請願・陳情に関すること、市議会だより、会議録検索システムなどを掲載しています。

また、情報については、「新着・更新情報」で随時更新しています。

市議会ホームページアドレス

<http://gikai.city.iwamizawa.hokkaido.jp>

議会を傍聴してみませんか

市議会の議場は市役所3階にあり、傍聴席は51席あります。

市議会はどこからでも傍聴することができます。

傍聴に当たっては、会議当日に議場傍聴席入り口にて傍聴人受付票に住所・氏名等をご記入いただき、傍聴受付箱に投函いただくだけで傍聴することができます。

また、会議の開催予定などについては、市議会ホームページにてご確認くださいか、議会事務局（TEL 0126-23-4111）までお問い合わせください。



議会の動き

6月

27日 議会運営委員会
第3回臨時会開催
総務常任委員会

7月

16日 議会広報委員会
19日 経済常任委員会
25日 建設常任委員会
31日 民生常任委員会

8月

19日 議会運営委員会
第4回臨時会開催
総務常任委員会
29日 桂沢浄水場更新事業特別委員会
30日 議会運営委員会

9月

2日 第3回定例会本会議（開会、提案説明）
議会改革特別委員会
6日 本会議（一般質問）
9日 本会議（一般質問）
10日 本会議（一般質問）
決算審査特別委員会
企業会計決算審査特別委員会
11日 総務常任委員会
民生常任委員会
経済常任委員会
建設常任委員会
13日 議会運営委員会
本会議（表決、閉会）
議会広報委員会
議会改革特別委員会
24日 議会改革特別委員会（第2小委員会）
27日 議会改革特別委員会（第1小委員会）

編集後記

皆さまから寄せられる声の多くに「議会（議員）が何をしているのかよくわからない」という課題があります。そのためツールの一つがこの市議会だよりですが、これだけでは不十分であることは言うまでもありません。

現在、議会改革論議が本格的にスタートし、岩見沢市議会の在り方全般について活発に意見が交わされています。改革の柱の一つである「議会の情報公開」に関して、市民

に開かれた議会とは何か？どうすれば相互理解が深まるのか？という点に着目し、一過性に終わることのない前進を目指したいと思えます。

（田中 記）

岩見沢市議会広報委員会

委員長 野尻 清
副委員長 田中 和宏
委員 大坂 龍起
委員 酒井 和子
委員 山田 靖廣